※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅱ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年次同様、単元ごとの目標設定と振り返り（自己評価）を行い、主体的な取り組みを支援します。
・書の歴史と文化を知り、より多様な表現とより深い鑑賞を行います。作品制作を通して更に大きな創作の喜びを味わいましょう。
・生活の中に書を活かすという視点も取り入れ、百人一首のかるた制作や刻字、実用の書も学びます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の文字や書，書 の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（1）書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，効果的に 表現するための技能を身に付けるようにする。
（2）書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や 書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
（3）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を 高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	「書道Ⅰ」で学習した書道の三分野それぞれの、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。	漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。	芸術科書道の学習に関心をもち、主体的に創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	仮名作品制作	・百人一首かるた制作 (一人一首制作)	a:仮名の古筆に基づく効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。 b:仮名の古筆の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 授業態度 振り返りシート
	漢字の書	・五書体の学習 ・正式書体と略式書体 ・五書体より一書体を選び漢字作品制作 ・漢字作品表具 ・相互鑑賞会	a:「書道Ⅰ」で学習した書道の三分野それぞれの、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深めている。 b:漢字の古典や仮名の古筆、創造された作品の価値と根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉える。 c: 主体的に漢字の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 授業態度 振り返りシート
2学期	**篆刻・刻字**	・刻字作品制作 ・篆刻作品制作	a: 目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、書体・書風、配字等による全体の構成の技能を身につけている。 b: 篆刻や刻字の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c: 主体的に篆刻や刻字の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 授業態度 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	生活の中の書	・年賀状 ・ペン字 ・金封、熨斗袋の表書き	a:漢字の書、仮名の書で学習したことを目的や用途、意図に応じた効果的な技能、を身につけている。 b: 生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。 c: 主体的に仮名の書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 授業態度 振り返りシート
3学期	漢字仮名交じりの書	・古典の書風を生かそう ２．創作 イメージを書で表現する	a: 目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b: 目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c: 主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現の学習活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	作品 相互批評記録シート 鑑賞レポー	作品 授業態度 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度